

2008年12月8日

各 位

扶桑レクセル株式会社
執行役員 木村 俊久

「ユニバーサルデザイン」を基幹とした取り組み 平成20年度 社団法人日本不動産学会（第15回）業績賞 大京グループとして4度目の受賞

大京グループのマンションデベロッパー、扶桑レクセル株式会社（本社：東京都新宿区、社長：山口 陽）は、2005年より開始した、「ユニバーサルデザイン」を基幹とした商品企画の確立と普及の取り組みにて、このたび「平成20年度社団法人日本不動産学会（第15回）業績賞」を受賞いたしましたので、お知らせいたします。

この賞は、新機軸を打ち出した不動産事業やそれにかかわる制度の創設など、幅広い対象の中から優秀な業績を表彰するものです。本年度は、当社の『「ユニバーサルデザイン」を基幹とする、マンション商品企画体系の確立と普及』の他、2つの事業が選ばれており、大京グループでの受賞は、平成18年度（第13回）の『「環境共生住宅」認定マンションの供給と維持管理への取り組み』に続き今回が4度目、当社単独では今回が初めての受賞となりました。

当社では、少子高齢化や住宅の「量から質へ」の方針転換といった時代の流れに加え、バリアフリー対応住宅のストックが少ない等の日本の住宅事情を改善するため、2005年5月より「ユニバーサルデザイン」の思想を取り入れた商品作りとその普及を推進してまいりました。

このたびの業績賞の審査では、「今後の超高齢社会に向けたバリアフリー化という視点だけでなく、すべての人々が快適に暮らすことが可能であるという視点からユニバーサルデザイン（UD）の思想を取り入れた商品作りを行うことは、これからの住生活上極めて重要であり、扶桑レクセルはこの課題に先駆的に取り組んでいる」、「企画設計段階で300項目に及ぶ独自のUD審査基準を確立し、これに基づく社内教育を全社員に徹底して行ってきた」、「現在までに77棟5,368戸（※資料提出時）に及ぶUD化マンションの供給実績は、業界ばかりでなくデザイン関連団体からも高い評価を受けている」などの評価をいただき、社会に顕著な貢献をなすものとして今回の受賞に至りました。

扶桑レクセル株式会社 会社概要

- ・所在地：東京都新宿区西新宿1-23-7
- ・代表者：代表取締役社長 山口 陽
- ・事業内容：マンション販売事業、エンジニアリング事業、中古マンション買取再販事業

以 上

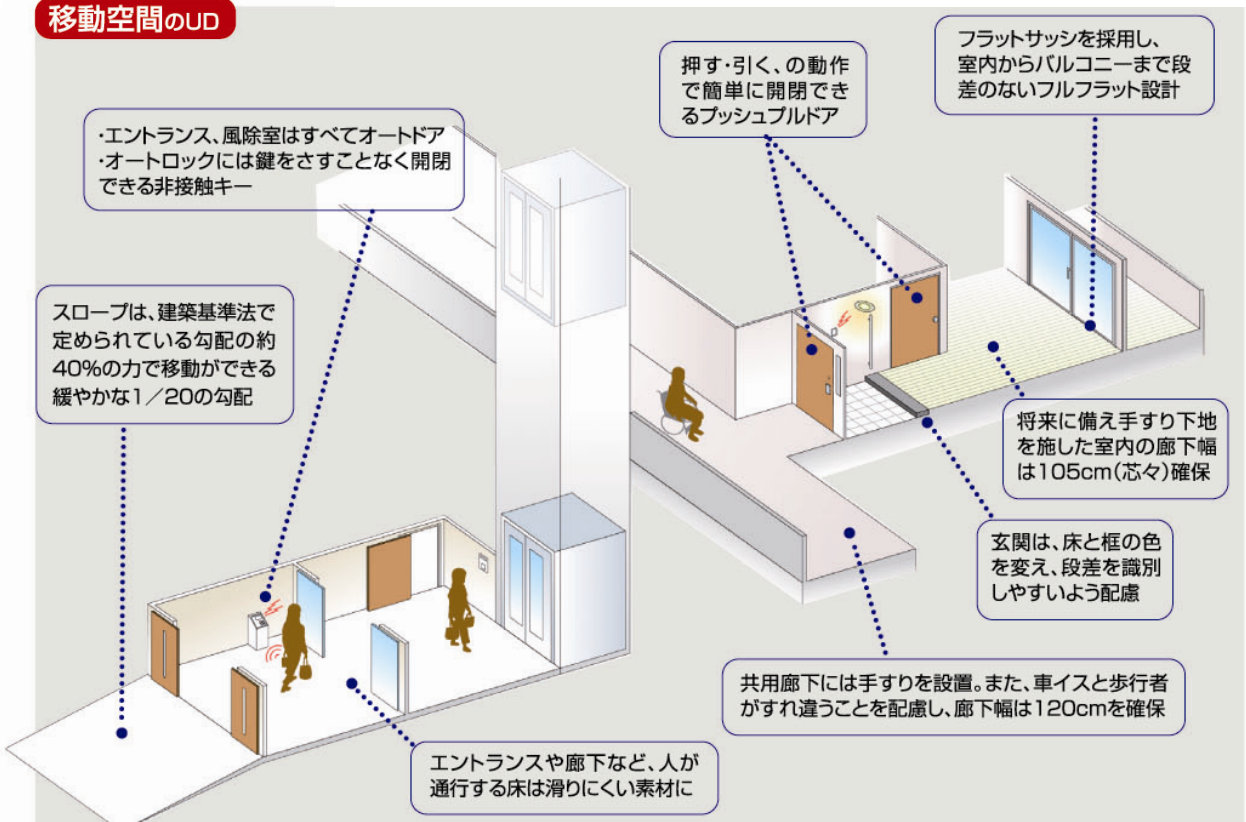
この件に関するお問い合わせ先

扶桑レクセル株式会社 事業推進部(担当：木村・水上)
TEL 03-3345-2555 (直通) URL <http://www.lexel.co.jp/>

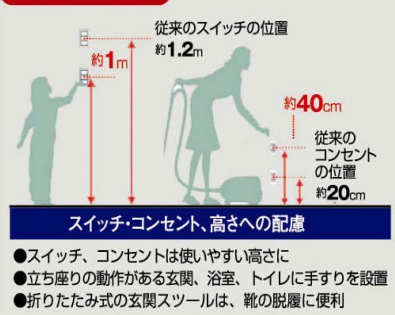
<参考資料>

「ユニバーサルデザイン」の取り組み（例）

移動空間のUD



姿勢・動作のUD



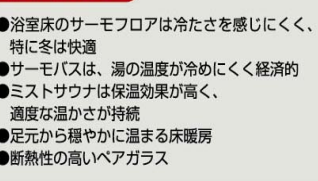
光・視のUD



安心・安全のUD



温熱のUD



333項目のユニバーサルデザイン自社基準

共用部・専有部あわせて333項目にもよぶ独自のユニバーサルデザイン審査基準を策定し、できるだけ多くの項目を採り入れるよう配慮。
(導入当初は251項目。現在は333項目まで進展。)

●ユニバーサルデザイン333項目の取り組み(一部抜粋)

階別	項目	仕様	
アプローチ	扉	1 段差を設けず、やむを得ず設けられる場合はスロープを併設する。	
	仕上げ	2 雨などで濡れた場合でも滑りにくい素材(C.S.R. 0.48~0.72)を採用する。	
	仕上げ	3 動線を誘導するデザイン、照明計画の工夫をする。	
	仕上げ	4 駐車場、バイク置場、自転車置場からメインエントランスに至る経路は、歩行者が安全に通行できるスペースを確保し、床の仕上げ、カラーを統一するなど、そのスペースが確保できるように工夫をする。	
	正	5 上層からの落下物を考慮し、できるだけ大型のものとする。	
	床	6 グレーチングは化粧裏とする。	
	スロープ	勾配	7 車椅子利用者が自力で登れることのできる勾配とする。
		幅員	8 車椅子利用者が無理なく通行できる幅員を確保する。
		諸扉	9 スロープが5m以上ある場合、中間に諸扉を設ける。
	階段	仕上げ	10 滑り止めを設ける。
		コーナー	11 スロープの
扉		12 メインエントランス	
扉		13 オートドアに	
開口寸法		14 片開きの扉	
仕上げ		15 雨などで濡	
仕上げ		16 動線を誘導	
扉		17 扉裏側に	
集合玄関機		18 カンタン付と	
集合玄関機		19 カンタンの取	

事例